

根木内歴史公園:湿地の観察会報告(2012/5/13 実施)

2012/5/29 文責/編集:相澤

参加者:相澤、市川、蒲倉、染谷、高橋、西澤、三井、宮寄、山田(洋) + 一般参加
千葉大関連:浅利、北村

今月は休日観察会として、13日の日曜日の午前・午後に関らず観察を行いました。一日に2回の観察には少しばててしまいましたが、小さな花に関心を持って見てくれる人が多く、「また土日開催して欲しい」という声も聞かれました。子ども達には、ヨシ笛やヤエムグラ(くっつけて遊ぶ)が人気でした。(相澤)

◇感想から

- ・ いろいろな植物の名前を知ることができました。今まで道ばたにさいていて「何ていう名前だろう」と思っていた草花の、くわしいはなしが聞けてよかったです。家に帰ってまた図かんをしらべてみたいです。
- ・ いつも身近にある草花の名前がとてもよくわかりました。たくさんあって覚えきれないくらいでしたが、おもしろかったです。
- ・ 短い時間でしたが丁寧に説明していただきありがとうございます。楽しかったです。
- ・ はじめての訪れです。幾度か通り過ぎていましたが——道路に入って少し下ると!!!素晴らしい景観。やさしい光と風のなかに、森と植物と湿地、小さな花をつける草々と虫達。命をはぐくむ自然がありました。注意して観なければ気付かない小さい植物にも、みんな名前があって、しかもそれぞれの方法で、しっかり命を繋いでいる。すごいな——。この里山を守り、育てていくことの大切さを、実感しました。城跡広場で桐の花にも出会えました。ザリガニ釣りと共に、昔に繋がりました。
- ・ 小さな花の名前はあまり知らなかったのですが、名前や解説を聞くうちに、それぞれの花の存在が以前より生き生きとしたものに感じられるようになりました。あと、ザリガニ釣りの人気に驚きました。
- ・ 5月の湿地はすっかり緑が濃くなっていました。なかでもヨシは50センチくらいにはなっていたかしら。冬の間池のようにになっていた水面は、ヨシに覆われてほとんどめだちませんでした。

ヤエムグラ

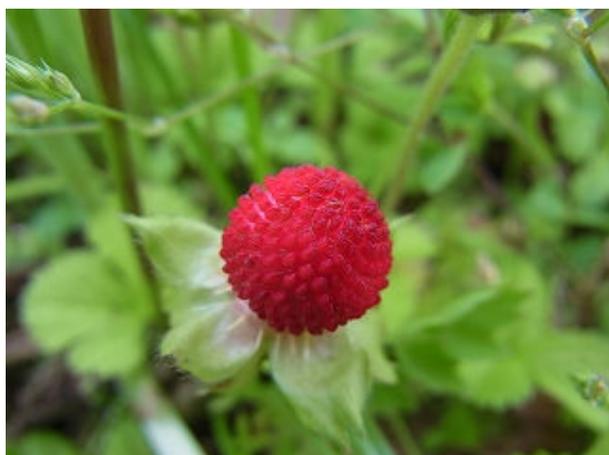


◇今日のお気に入り

ヘビイチゴ

人間は食わず、ヘビが食べるようなイチゴ、と名付けられたのですが、食べてみた4歳の少年は『おいしかった』との感想。お母さんが『お腹からヘビが出てくるよ』とおどかすと、本気で不安そうにお腹を見つめておりました。(相澤)

赤くうれた様な色で丸くかわいらしかった。まだ花も少しですが咲いていました。(山田)





シオヤトンボ

初夏のこの時季しか姿が見られないという湿地を好むシオヤトンボ... 初めて会いました。出会っても、シオカラトンボと思っていたのかも知れません。ずんぐりした体型というか... お腹が広く感じました。よく観察する目を持たないと、気づかないものですね。(染谷)

桐の花

いつもは高い木の上で咲いているのしか見ていませんが、今回は頭の高さで近くで見る事が出来ました。一つの花も思いのほか大きく、又、その花が 20 個位まとまって咲いていました。(山田)



ノミノフスマ

小さい花はたくさんありますが、その中でも特に気に入りました。丸さ、色、大きさが、全てかわいらしさになっていると思います。(浅利) 特段珍しくもないが、ハコベ属を代表する白い小花 (ハコベ、ウシハコベ、ノミノフスマなど) に魅かれるのは私だけではないと思われる。今回もルーペで花柱の数を数えたり、クローズアップ写真を撮って特徴を確認しながら、その可憐で清楚な姿に触れてさらに親しみを覚えた。(三井)

シロダモ

この時期のシロダモの若葉と若枝は黄褐色の絹毛にびっしりとおおわれて目を引く。タイミングが若干遅かったせいでビロードのような手触りは多少失われていたのが残念ではあったが、地味な常緑樹であるシロダモの春の装いを楽しむことができた。(三井)





カワヂシャ

畔の付近にたくさん出ていました。水色というか、白い小さな花は清楚です。葉っぱもやわらかそうで、サラダにしたらおいしいかも。食べたことはありませんが。以前は貴重な感じで見えていましたが、これだけ生えてくれると、ここではもうあたりまえの植物といえますね。「絶滅」にならないようにしたいです。(西澤)

『若葉』という唱歌を思い出すような光景が根木内自然公園には広がっていました。
♪～鮮やかなみどりよ 明るいまどりよ... かおる かおる 若葉がかおる～
♪～爽やかなみどりよ 豊かなみどりよ 田畑をうずめ 野山をおおい そよぐ そよぐ 若葉がそよぐ～
青い空には刷毛で引いたような薄い白い雲が風に飛ばされているような姿で流れていて、その下には色とりどりの緑の競演、爽やかな空気を吸い込みながら、鳥たちのさえずりを耳にして歩く心地よさは何とも言えません。今日一番のお気に入りはこの豊かな緑と爽やかな空気をあげたいです。(染谷)

豊かな緑と爽やかな空気



ヨシ

お気に入りのこの欄にヨシを書くことになるとは思っていませんでした。長い話しになります。私達の活動の中でヨシをどうするか、日々ヨシとの格闘です。春に芽を出し、夏には3メートルにも生長するヨシで、手がつけられなくなります。根は横にはり、ガッチリと土の中でスクラムを組、抜くなんて考えられないほどの力です。茅葺き屋根の材料にもなっています、カヤだけでは足りないのを混ぜて使うとか。私の担当するハンノキ島のヨシは、何年もかけて手刈りで、芽が出ると刈り、芽が出ると刈りの追いかけてっこをしています。何度も投げかけた事があります。去年あたりから、芽が出ても茎は細く弱々しく？引っ張ると少しずつですが抜けるようになりました。今年は刈るのにとっても楽で勝利宣言をだしても良いかと思いますが、敵も生き延びることに必死です。油断はできません。まだまだ戦いは継続中。きょうはそのヨシで、ヨシ笛を作ってならしたり、葉で笹の葉のかわりにササ舟をつくったりして、観察会にきた子ども達と楽しみました。きょうばかりはヨシの存在が私の中で輝いた日でした。(高橋)

根木内歴史公園の湿地の観察会は毎月第2火曜日に行っております。6月は12日(火)に行います(雨天時は13日(水)に延期)。
9:30に公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内で昼食を食べます。
お問い合わせ(千葉大・相澤)
E-mail: akihitoaizawa@gmail.com